

授業に役立つホームページ

第4回 「であい」

— 中等教育向け異文化理解教材サイト —

今回は「であい：7人の高校生の素顔」というページ (http://www.tjf.or.jp/deai/) を紹介します。

る1,153枚の写真があります。この中には、家族、学校生活など、海外の日本語教育、とくに中等教育のシラバスにあるトピックで使える写真が集められています。また検索機能も付いていて、写真のタイトルや説明に入っていることばを入力して自由に写真を探すことができます。



図1 「であい」トップページ

「であい」は、海外で日本語を学習する中高生が、自分たちと同じ年頃の日本の高校生と擬似的に「出会う」ことによって、日本語と日本文化を学べるホームページです。学習者は、実在する7人の高校生について、日常生活の写真や説明文を題材にして話したり、作文を書いたりするなど、いろいろな形で日本語の学習ができます。それだけではなく、7人の一人ひとりの学校生活や部活動、友だちや家族との過ごし方、住んでいるところ、将来の夢などについて知り、身近に感じるようになります。そして自分と同じところや違うところを発見していくうちに、ものの見方にもいろいろあることに気がついて、自分や自分の周りの社会についても深く考えるようになるのです。このように「であい」を使うことで、日本文化についての決まった見方を学ぶのではなく、文化のさまざまな姿を知ることができます。

「であい」ホームページには、教材としての「写真、マイ・ストーリー、メッセージビデオ」と、それをうまく使うための「教師のためのサポート情報」があります。(図1)

「写真、マイ・ストーリー、メッセージビデオ」には、7人のプロフィールと一日の生活のようすがわか



図2 写真とキャプション「おべんとうを食べる」

1枚1枚の写真(図2)の下には「キャプション」(本人による写真の説明文)と「語彙リスト」、社会文化についての「ミニ事典」が付いています。例えばある高校生の昼食の写真に付いている「ミニ事典」の「弁当」をクリックすると、弁当についての説明と、「であい」で紹介されているほかの高校生の昼食の写真が全部見られます。

このほか、「メッセージビデオ」には7人が海外の高校生に話しかけるようが入っています。さらに「マイ・ストーリー」には、彼らが話した自分の生きたちや、今考えていることなどが、日本語と英語でくわしく書かれています。

「教師のためのサポート情報」には、「授業案」「参考資料集」「ミニ事典」「語彙リスト」があります。「授業案」には、制作者の国際文化フォーラムが用意した

授業案 (図3) とワークシート (図4) があります。
 また、各地の日本語教師の考えた教室活動の例や、日本語教科書に沿った授業案 (今のところ英語圏向けの) も出ています。ⁱⁱ これらの教室活動は、テーマや言語機能、教室活動の形式などから検索できるようになっていて、活動を考えるときにとても便利です。



図3 TJF による活動案：進め方

「であい」ホームページにある授業案では、教材キットの中の写真シートを使って教師が説明したり、生徒に話し合わせたりする活動例が紹介されています。教材キットがなくても、次のように「であい」ホームページを使うことができます。

- (1) PCプロジェクターなどで生徒に写真を見せる。
- (2) 写真をカラー印刷してグループに1枚ずつ配る。
- (3) ワードで作った教材に写真を貼り付けて配る。
- (4) 生徒が自宅や図書館で「であい」ホームページを見ながら宿題をする。

「であい」ホームページは生徒にとっても使いやすくできているので、(4)の方法でいろいろな課題を出すことができます。たとえば「みちさん」という高生者の家族について家で調べてくる宿題を出しておき、次の授業では生徒が自分の家族の写真を教室に持ってきて、家族について話すという活動ができます。また読解・作文の場合、生徒にミニ事典の「おべんとう」のページを見せて、内容理解の質問を出し、生徒自身の昼食について書かせる活動もできます。難しいことばがあればリーディング チュウ太 (『日本語教育通信』44号で紹介) で調べながら読むこともできます。

学校に生徒の使えるコンピューターが少ないときは、全員ができるように一週間ぐらい時間を取るといいでしょう。また、クラスのための自分のホームページを持っている先生は、そこに課題を書いて、生徒に見せたい写真や「ミニ事典」のページへのリンクを付けておくと効果的です。

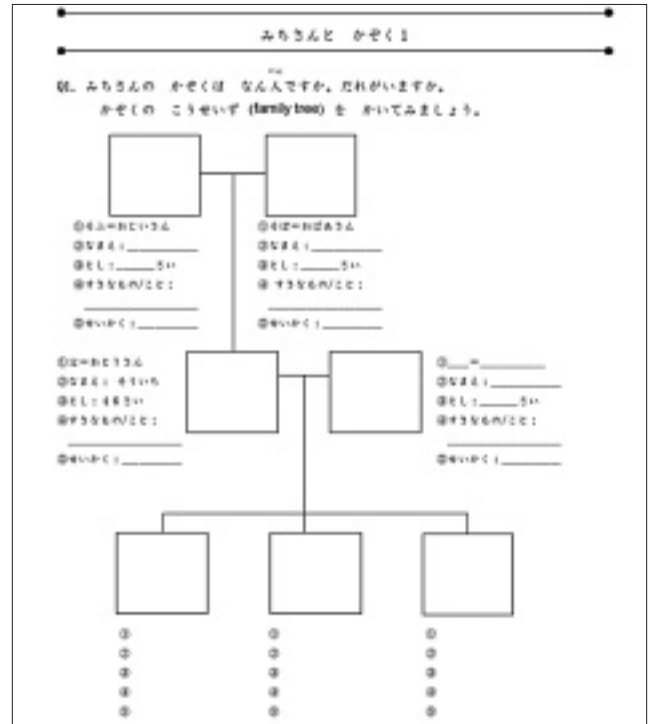


図4 TJF による活動案：ワークシート

最後に、「であい」は「みんなの教材サイト」と同じく参加型のホームページです。使ったコメントや授業案、質問を国際文化フォーラムに送ることで、さらにいいページにしていくことができます。ⁱⁱⁱ

ⁱ (財)国際文化フォーラム(TJF)によって、元々はA3版の写真シートとブックレット、そして2枚のCD-ROMという構成の教材キット(非売品)として作られました。「であい」ホームページでは教材キットの内容のほとんどがダウンロードでき、さらにそれ以外の機能もあります。

ⁱⁱ 「であい」は元々英語圏の高校生向けに開発されたものなので、ホームページ全体が日本語と英語で書かれています。

ⁱⁱⁱ (財)国際文化フォーラム <http://www.tjf.or.jp/>
Eメール：forum@tjf.or.jp ファックス：81-5-5322-5211